

作業計画と実績

2017年1月24日現在

月日	曜日	予定 (1/9週間予定表より)		実績	
1月9日	月		[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験		[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験
1月10日	火	Multi Omics 実験		Multi Omics 実験	
1月11日	水	Multi Omics 実験		Multi Omics 実験	
1月12日	木		○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線パ ースの観測 (GALET)		○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パースの観測 (GALET)
1月13日	金				
1月14日	土				
1月15日	日				

日付は日本時間

- 略語
- Multi Omics: 宇宙環境における健康管理に向けた免疫・腸内環境の統合評価
(代表研究者:大野博司 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター)
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者:森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者:若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者:佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - GALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業計画と実績

2017年1月24日現在

月日	曜日	予定 (1/16週間予定表より)	実績
1月16日	月	・超小型衛星(J-SSOD#6)放出作業 ・超小型衛星(J-SSOD#6)放出後作業	・超小型衛星(J-SSOD#6)放出作業 ・超小型衛星(J-SSOD#6)放出後作業
1月17日	火	Marangoni UVP 実験	Marangoni UVP 実験
1月18日	水	・超小型衛星(J-SSOD#6)放出後作業	・超小型衛星(J-SSOD#6)放出後作業
1月19日	木		
1月20日	金		
1月21日	土		
1月22日	日		

日付は日本時間

- 略語
- Marangoni UVP: マランゴニ対流における時空間構造
(代表研究者: 依田真一 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授)
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置